

# ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-52384

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月24日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 4 7 K 17/02

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 7 K 17/02

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-227889

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 8 月 9 日

(71) 出願人 396017992

塚腰 令子

岐阜県高山市名田町 3 丁目14番地

(72) 発明者 塚腰 令子

岐阜県高山市名田町 3 丁目14番地

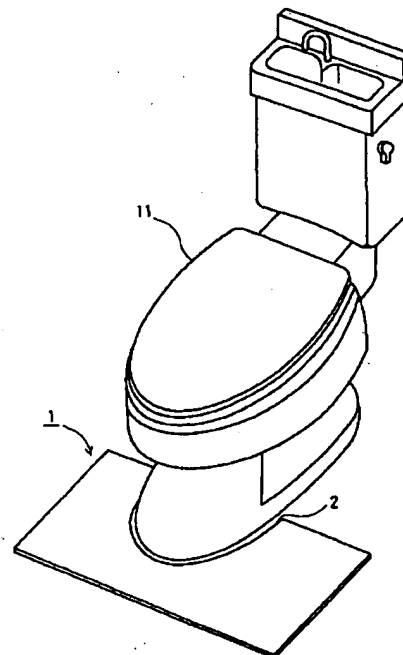
(74) 代理人 弁理士 前田 勸次

(54) 【発明の名称】 トイレ用フロアシート

(57) 【要約】

【課題】 トイレの床面に直に糞尿等の汚れが付着するのを防止でき、安価な材質で構成され、使い捨て可能であり、洗濯が不要なトイレ用フロアシートを提供する。

【解決手段】 所定厚さで吸水性があり通常の布地のトイレ用フロアマットに比べて安価なシート状の紙からなり、西洋式便器 1 1 の手前周囲の床面に敷設したとき西洋式便器 1 1 下部の形状に合わせて嵌合可能な大きさ及び形状に切り込まれた切欠部 2 を備えたものである。西洋式便器 1 1 下部の形状に合わせて凹状に形成された切欠部 2 を西洋式便器 1 1 下部に嵌合させて、西洋式便器 1 1 の手前周囲の床面に敷設することにより、西洋式便器 1 1 の手前周囲の床面を覆うことができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定厚さで吸水性がある安価なシート材からなり、便器の手前周囲の床面に敷設したとき便器下部の形状に合わせて嵌合可能な形状の切欠部を具備することを特徴とするトイレ用フロアシート。

【請求項2】 前記シート材は、材質が紙であることを特徴とする請求項1に記載のトイレ用フロアシート。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、トイレ用フロアシートに関するものであり、特に、使い捨て可能なトイレ用フロアシートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、西洋式便器の手前周囲の床面には、トイレ用フロアマットが敷設されることがある。このトイレ用フロアマットは、排泄する際に勢い余って外部へと飛び出す糞尿等が落下して床面に付着するのを防止するためのものである。特に、西洋式便器を男性用小便器として使用する際には、床面へと落下する尿の量が多く、トイレ用フロアマットは重要な役割を担っている。そして、このトイレ用フロアマットは定期的に洗濯等をして交換することにより、常にトイレの床面を清潔に保っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のようなトイレの床面に敷設する従来のトイレ用フロアマットは、通常、布製であり、使用後に洗濯することにより繰り返し使用するので、洗濯作業に伴う不快感があった。特に、飲食店、各種公共施設等のように使用者が不特定多数の場合には、トイレ用フロアマットの汚れる頻度も多く、トイレ用フロアマットの洗濯作業がより一層不快であった。

【0004】なお、トイレ用フロアマットを使用しない場合は、トイレの床面に直に糞尿等の汚れが付着する虞れがあり、これらの汚れ等は、モップや雑巾等により、その都度、清掃しなければならず、極めて面倒であった。

【0005】そこで、本発明は、トイレの床面に直に糞尿等の汚れが付着するのを防止でき、安価な材質で構成され、使い捨て可能であり、洗濯が不要なトイレ用フロアシートの提供を課題とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明にかかるトイレ用フロアシートは、所定厚さで吸水性がある安価なシート材からなり、便器の手前周囲の床面に敷設したとき便器下部の形状に合わせて嵌合可能な形状の切欠部を具備するものである。ここで、シート材の材質には、吸水性があり、使い捨て使用しても経済的に負担にならない程度の安価な材質であれば、どのような材質であっても構わない。また、切欠部は、便器の周囲のうち手前

側の一部分のみを取り囲むものでもよいが、便器の周囲を取り囲む範囲には制限はなく、後部に至るまで略全体を取り囲むものであってもよい。さらに、便器の種類には、西洋式便器、和式便器、ストール小便器、ビデ等がある。

【0007】したがって、請求項1の発明のトイレ用フロアシートによれば、通常のトイレ用フロアマットと同様に、便器下部の形状に合わせて凹状に形成された切欠部を便器下部に嵌合させて便器の手前周囲の床面に敷設することにより、便器の手前周囲の床面を覆うことができる。また、通常のフロアマットの布地に比べて大幅に安価であるので、使い捨てに適しており、使い捨てにすることにより、洗濯する必要がない。

【0008】請求項2の発明にかかるトイレ用フロアシートは、請求項1のトイレ用フロアシートにおいて、シート材の材質を紙としたものである。

【0009】したがって、請求項2の発明のトイレ用フロアシートによれば、請求項1のトイレ用フロアシートの作用に加えて、シート材の材質に紙が使用されているので、十分な吸水性があるとともに、通常のフロアマットに比べ大幅に安価となる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の各実施形態について説明をする。図1は本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートを示す平面図、図2は本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートを示す裏面図である。

【0011】図1及び図2に示すように、本実施形態のトイレ用フロアシート1は、シート状の紙からなり、外観の形状が略長方形である。

【0012】そして、トイレ用フロアシート1の長手方向の略中央には、幅方向一端より中央へと凹状に切欠かれ、西洋式便器の手前下部の形状に合わせて嵌合可能な大きさ及び形状の切欠部2が形成されている。この切欠部2を西洋式便器の手前下部の形状に合わせて嵌合することにより、トイレ用フロアシート1で西洋式便器の手前先端より更に手前だけでなく、奥行き方向両側の床面をも覆うことができる。

【0013】また、トイレ用フロアシート1の裏面には、4つの隅の近傍に両面テープ3が各々に固着されている。この両面テープ3は、トイレ用フロアシート1を床面に敷設したときに、風等の外力により敷設位置がずれるのを防止するためのものである。

【0014】このようなトイレ用フロアシート1は、図3に示すように、西洋式便器11の手前に敷設される。図3は本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートの使用状態を示す斜視図である。このとき、西洋式便器11周囲の床面は、西洋式便器11の手前近傍だけでなく、切欠部2が西洋式便器11の手前下部に嵌合した状態であり、切欠部2を挟む両側が西洋式便器11の幅

方向の両側の床面をも覆うので、床面のうち排泄する際に勢い余って周囲に飛び散る糞尿等が最も多く落下する範囲全体が覆われ、糞尿等が床面に付着するのを略完全に防止できる。

【0015】このように、本実施形態のトイレ用フロアシート1は、所定厚さのシート状の紙からなり、西洋式便器11の手前周囲の床面に敷設したとき西洋式便器11下部の形状に合わせて嵌合可能な大きさ及び形状に切り込まれた切欠部2を備えたものである。

【0016】したがって、本実施形態のトイレ用フロアシート1は、通常のトイレ用フロアマットと同様に、西洋式便器11下部の形状に合わせて凹状に形成された切欠部2を西洋式便器11下部に嵌合させて、西洋式便器11の手前周囲の床面に敷設することにより、西洋式便器11の手前周囲の床面を覆うことができるので、排泄する際に勢い余って西洋式便器11の外部へと飛び散る糞尿等を表面にて受けることができ、トイレの床面を汚すことがない。また、材質が紙であり、布製の従来のトイレ用フロアマットに比べて極めて安価であるので、使い捨て使用しても何ら経済的に問題はない。使い捨て使用をすれば、従来のトイレ用フロアマットのように洗濯する必要がないので、糞尿等で汚れたトイレ用フロアマットを洗濯するのに伴う不快感がない。

【0017】続いて、本発明の第二実施形態について説明をする。図4は本発明の第二実施形態であるトイレ用フロアシートの平面図、図5は本発明の第二実施形態であるトイレ用フロアシートの裏面図である。

【0018】図4及び図5に示すように、本実施形態のトイレ用フロアシート21は、シート状の紙からなり、外観の形状が略正方形である。

【0019】そして、トイレ用フロアシート21の略中央には、便器の下部が挿通可能な形状に開口部22が切欠かれている。そして、前記開口部22には、外部へと切り込まれた切断部23が設けられている。そのため、切断部23を挟む部分は左右に分離でき、切断部23を挟む部分を左右に分離することにより、西洋式便器11の下部を開口部22に嵌合させることができる。つまり、このトイレ用フロアシート21は、開口部22に西洋式便器11を挿通させた状態で、トイレの床面に敷設できる。その結果、西洋式便器11の周囲は、手前近傍だけでなく、背後に至るまで、床面をトイレ用フロアシート21によって覆われることになり、排泄の際に勢い余って外部へと飛び出す糞尿等が床面に付着するのを略完全に防止できる。特に、床面に糞尿等が付着するのを防止できる範囲が、手前近傍だけでなく、背後に至るまで拡大されているので、より安心である。

【0020】なお、トイレ用フロアシート21の裏面には、4つの隅の近傍に接着布24が各々に固着されている。接着布24は係止される側と支持側の一組の組み合わせのうち的一方であり、他方の接着布（図示せず）は予

め床面に固着させておく。つまり、トイレ用フロアシート21をトイレの床面に敷設したときに、接着布24が接する位置に他方の接着布（図示せず）を固着させておき、接着布24は他方の接着布（図示せず）に係止される。その結果、トイレ用フロアシート21は、風等の外力により敷設位置がずれない。

【0021】このように、本実施形態のトイレ用フロアシート21は、所定厚さのシート状の紙からなり、西洋式便器11の周囲の床面に敷設したとき西洋式便器11下部の形状に合わせて挿通可能な大きさ及び形状の開口部22を備えたものである。つまり、上記第一実施形態のトイレ用フロアシート1において、床面を覆う範囲を西洋式便器11の手前周囲のみから、背後に至るまで拡大したものである。

【0022】したがって、本実施形態のトイレ用フロアシート21は、開口部22に西洋式便器11の下部を挿通させ、床面に敷設することにより、西洋式便器11の手前周囲の床面だけでなく背後に至るまで、西洋式便器11周囲の床面を覆うことができるので、排泄する際に勢い余って西洋式便器11の外部へと飛び散る糞尿等を表面にて受けることができ、トイレの床面を汚すことがない。特に、床面に糞尿等が付着するのを防止できる範囲が、通常のトイレ用フロアマットのように手前近傍だけでなく、背後に至るまで拡大できるので、より確実に安心である。また、材質が紙であり、使い捨て使用しても経済的に何ら問題がなく、使い捨て使用すれば、洗濯する必要がないので、糞尿等で汚れたトイレ用フロアマットを洗濯するのに伴う不快感がない。

【0023】ところで、上記各実施形態では、トイレ用フロアシート1、21の材質を紙としたが、必ずしも紙に限定されるものではなく、その他に吸水性があり、使い捨て使用しても経済的に負担にならないほど安価な材質であれば、どのような材質であっても構わない。

【0024】また、上記各実施形態では、トイレ用フロアシート1、21の外観の形状は略長方形または正方形としたが、必ずしも長方形または正方形に限定されるものではなく、その他に、円、楕円、花柄模様等でもよい。外形の形状を工夫すれば、意匠的效果が期待でき、トイレの美観も向上する。

【0025】さらに、上記各実施形態では、トイレ用フロアシート1、21の敷設先として西洋式便器11の周囲としたが、西洋式便器11に限定されるものではなく、和式便器、ストール小便器、ビデ等にも当然応用できる。

【0026】さらにまた、上記各実施形態では、トイレ用フロアシート1、21の敷設位置がずれないようにする手段として、両面テープ3や接着布24を使用した。必ずしも、両面テープ3、接着布24に限定されるものではなく、その他に吸盤、磁石等でもよい。なお、より安価なトイレ用フロアシート1、21にするため

に、両面テープ3や接着布24を省略してもよい。

【0027】

【発明の効果】以上のように、請求項1の発明のトイレ用フロアシートは、通常のトイレ用フロアマットと同様に、便器下部の形状に合わせて凹状に形成された切欠部を便器下部に嵌合させて便器の手前周囲の床面に敷設することにより、便器の手前周囲の床面を覆うことができるので、排泄する際に勢い余って便器の外部へと飛び出す糞尿等を表面にて受けることができ、トイレの床面を汚すことがない。また、安価で使い捨てに適しており、使い捨てにすることにより、洗濯する必要がないので、糞尿等で汚れたトイレ用フロアシートを洗濯するのに伴う不快感がない。

【0028】請求項2の発明のトイレ用フロアシートは、請求項1のトイレ用フロアシートの効果に加えて、シート材の材質に紙が使用されており、十分な吸水性があるとともに、通常フロアマットに比べ大幅に安価となるので、機能的には通常フロアマットと同様で何ら支障がなく、使い捨て用として最適である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートを示す平面図である。

【図2】本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートを示す裏面図である。

【図3】本発明の第一実施形態であるトイレ用フロアシートの使用状態を示す斜視図である。

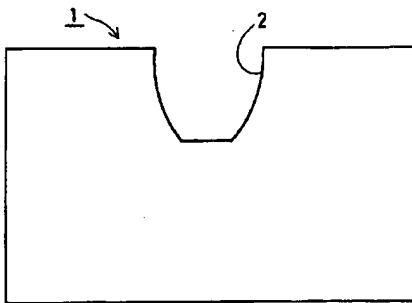
【図4】本発明の第二実施形態であるトイレ用フロアシートを示す平面図である。

【図5】本発明の第二実施形態であるトイレ用フロアシートを示す裏面図である。

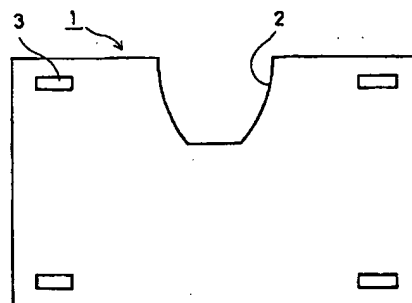
【符号の説明】

- 1 トイレ用フロアシート
- 2 切欠部
- 3 両面テープ
- 11 西洋式便器
- 21 トイレ用フロアシート
- 22 開口部
- 23 切断部
- 24 接着布

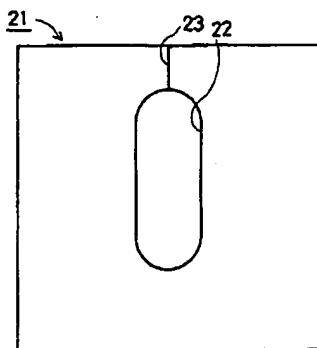
【図1】



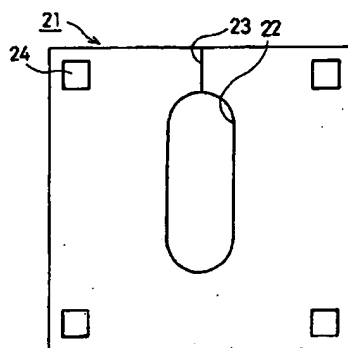
【図2】



【図4】



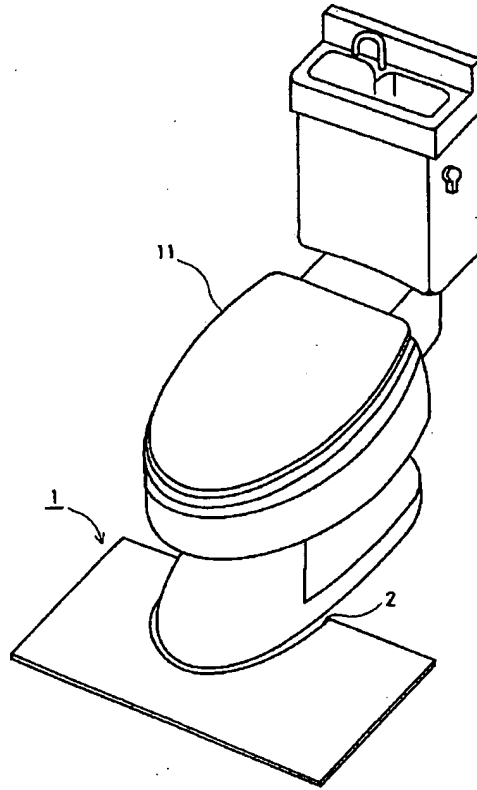
【図5】



(5)

特開平10-52384

【図3】



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10052384 A**

(43) Date of publication of application: **24.02.98**

(51) Int. Cl. **A47K 17/02**

(21) Application number: **08227889**

(71) Applicant: **TSUKAGOSHI REIKO**

(22) Date of filing: **09.08.96**

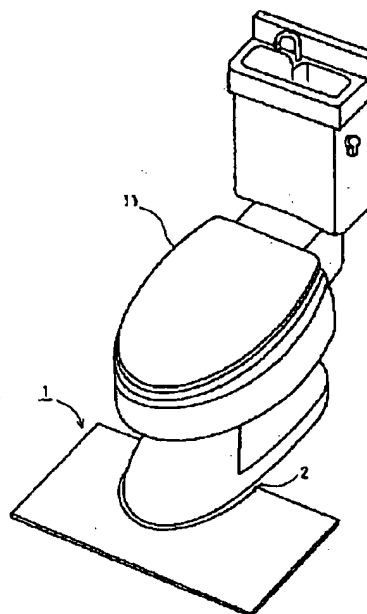
(72) Inventor: **TSUKAGOSHI REIKO**

**(54) FLOOR SHEET FOR TOILET**

**(57) Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a floor sheet for a toilet with which attachment of contamination of excrement directly on a floor surface of the toilet can be prevented, which is composed of low-cost material, which is disposable, and which requires no washing.

**SOLUTION:** A floor sheet for a toilet comprises a sheet of paper of a specified thickness, having a water absorption property, and of a lower cost than a conventional floor mat for a toilet made of cloth, and it is provided with a cut part 2 cut in such a size and form as to be fitted with a lower part of a toilet seat when it is placed on a floor surface around a front part of the toilet bowl 11. By thus placing it on the floor surface around a front part of the toilet seat 11, fitting the cut part 2 formed recessed in the form of the lower part of the toilet bowl 11 with the lower part of the toilet bowl 11, the floor surface around the front part of the toilet bowl 11 can be covered.



COPYRIGHT: (C)1998,JPO